

祭典ニュース

発行
2024日本のうたごえ佐賀祭典in
実行委員会 宣伝
行委員会 広報委員会

祭典HP <https://sites.google.com/view/2024asagauta-festival>

第二回九州合同練習会開催



(九州各県から78名参加)

4月28日(日)熊本市託麻公民館において九州のうたごえ連絡協議会主催による日なた佐賀祭典に向けた第一回九州合同練習会があり、佐賀からは17名が参加しました。

練習会では日なた佐賀祭典の九州合同ステージで歌う「平和の旅

へ」「地底のうた」「空を海をいのちを」ほか4曲の練習があり曲への理解を深めると同時に九州の団結を図ることが出来ました。

練習会に参加した松永正美さん(コールほけつ)は、「男声合唱の「地底のうた」の練習のとき最後の「俺たちは栄えある三池炭鉱労働者」のフレーズに差し掛かると、言葉に詰まり、ぞわぞわとしたなんとも言えない、泣き出したくなるような感動に包まれました。何としてもこの歌を全国の仲間と一緒に佐賀アリーナに響き渡らせたいという思いを強くしま

た人が数人来られ、マイクの前で歌われたり終始楽しまれている様子で、嬉しいやら、苦勞が報われたと思います。その他、自称にわか三姉妹の登場があったり、母と娘の共演があったりと、和やかな時間が過ぎていきました。最後に「宝の海よ」を会場の皆さんと一緒に歌い、さが祭典のアピールと歌い手募集を行いました。そのあと開催した「女性のうたごえ」の練習に参加していたなど次につながる成果をあげる事が出来ました。

つぎつぎ開催

うたごえ喫茶

背振町で50名以上参加



4月29日(月・祝)神埼市脊振交流センターで、脊振で初めてのうたごえ喫茶が開催されました。

会を主催された神代真也さんは、「脊振での開催で、人が集まるの心配でしたが、訪問、チラシの投函

JAや郵便局への依頼が功を奏し、50名以上に集まってもらえました。途中には祭典のテーマ曲を披露し、賛同金のお願ひもして、2時間があったという間に過ぎました。「初めてだったけど楽しかった」「次は友人を誘いたい」などの感想をいただくことが出来ました」と語られました。

佐賀市実行委員会主催



4月27日(土)、佐賀市内の公民館でうたごえ喫茶が開催されました。日なた佐賀祭典の歌い手拡大につながるため、今回は試みに公民館近くの家々にチラシを配りました。

そのチラシを見て初めて参加し



「女性のうたごえ」の練習に参加していたなど次につながる成果をあげる事が出来ました。

歌い手拡大に一役

4月25日(土)鹿島市の鹿島文化ホール「サクラス」で開催された「名曲をあなたへ」新沼謙治のコーナーで「ふるさと」は今もかわらずの曲のバックコーラス依頼が鹿島うたごえ合唱団にあり、

した」と語られました。

同じく合同練習会初参加の染川浩美さん(鹿島うたごえ合唱団)は、「自分は合唱練習の体操担当です。行徳先生の準備体操に腹筋を意識して行う運動があり、早速、次の練習時に取り入れられました。また「あくびをする前のように口を開けて頬骨を上げて」など生き生きとした表情で指導頂き、これなら見ている方も楽しくなれると思います。鏡があったら確認して歌いたい気分になりました」と語られました。また、同合唱団の田中勝子さんは、「男性の声が歌の底上げをしてくれていると感じながら歌いました。楽譜を見ないで歌っている方も多く、さすがと思いましたが」との感想を寄せられました。

練習会を準備して頂いた福岡のうたごえ協議会の皆様ありがとうございました。

4月25日(土)鹿島市の鹿島文化ホール「サクラス」で開催された「名曲をあなたへ」新沼謙治のコーナーで「ふるさと」は今もかわらずの曲のバックコーラス依頼が鹿島うたごえ合唱団にあり、

「全国賛同金」各地から合唱団の取り組みが届く!!



全国の合唱団から賛同金申し込みのFAXが届き始めました。5/11現在、10都府県から約40万円の賛同金が寄せられています。FAXに、合唱団の一人お一人の名前と賛同金が記載されていて、日なた祭典in佐賀への期待と応援をありがたく思います。全国の皆さんからの賛同金は、各ステージの成功につながります。これからよろしくお願ひします。

同合唱団から12名、あと32名を、鹿島の他の合唱団に呼び掛け、44名が参加。江下葉子先生の歌唱指導で4月初めから練習を行い、先生の指揮で歌い上げた時は参加者一同感動しました。佐賀地域のうたごえのメンバーからも4名が参加され、「日本のうたごえ祭典in佐賀」のアピールを行い、合唱曲の紹介や練習日程の知らせをしていただき、合同練習の指導も素敵な江下葉子先生が引き受けてくださり鹿島の合唱団の方々への歌い手拡大の一歩となりました。西部地域から100名の歌い手拡大を目指します。

若者のうたごえ 練習始動



4月下旬、mazeceze (まぜこぜ) 合唱団が青年のステージの第一回目の練習会を開催しました。練習会では、mazecezeが合唱発表会で歌う「やさしさに包まれたなら」と「This is me!」(なんと英語で...)。そして日うた祭典の青年のステージで歌う「その手の中に」と「明日はきつといい日になる」の練習を行いました。

若者へエール

動画を見て驚きました。その日初めて見た楽譜「その手の中に」をパート別に練習して、最後は混声四部をそれなりにまとめて歌う若者の姿がそこにありました。佐賀の若者は1000人で歌うことを目指しています。仲間が仲間を呼んで倍、倍と増えていくことを願っています。佐賀アリーナでの

仲間と集まって歌うのはやっぱり楽しくて、特に少しハモって歌えたところは『この感じ！最高！』と合唱のよさを感じることができました。アリーナで歌ったらどれほど最高なんだろう！現在は10数人のメンバーですが、全国で2000人を目標に歌い手を募集中。
本番のステージで気持ちよく歌えるよう頑張ります！
(mazeceze合唱団・北村寛子)

この感じ！
最高!!



(第1回練習の様子動画)

若者の歌は、未来へ繋がる希望の歌声として響きわたることでしょう。佐賀の若者ここにあり！と堂々と歌いあげて下さいね。心からのエールを送ります！

実行委員長 松田

「若者のステージ」は日うた佐賀祭典の大トリです。佐賀の若者と全国から集まった若者に託します。明日を！未来を！

企画委員長 八谷

鳥栖会場第1回練習会開催



4月25日(木)午後、鳥栖市立麓まちづくり推進センターで第1回鳥栖地区練習会が開催されました。当日は鳥栖市周辺から約30人の人が集まり、水頭順子先生指導の下「ふるさとの四季」の練習を行いました。練習会に参加された女性の一人は『みんなの歌が素晴らしいハーモニーになり、心が洗われました』、別の男性からは『水頭先生の指導に圧倒され

今後の予定

【うたごえ喫茶】

- 5/20(月)：小城・多久地域実行委員会
- 5/25(土)：塩田津 Vege キッチン
- 5/30(木)：武雄市山内町 水尾団地

【合同ステージ練習】

- 5/18-19(土日) 西日本合唱講習会 in福岡 (福岡市)
- 5/25(土)：若者の合唱団 (若楠)
- 5/25(土)：ふるさとの四季 (神野) 空と海を大地を守る ぞうれっしゃがやってきた
- 5/26(日)：アメイジンググレイス (北1副) 荒木栄・平和の旅へ (神野)
- 6/30(日)：プレ企画 (はんぎーホール)
- 11/3(日)：ぞうれっしゃがやってきた 合同練習 ※ 藤村記一郎さん指導
- 11/4(月)：佐賀市民吹奏楽団との 合同練習

「女性のうたごえ」練習開始



「女性のうたごえ」の練習が始まりました。女声合唱団パッソア

ました。これからの学びも多だろうと思います」というコメントが寄せられました。今後は、第2・第4木曜15時から同会場で定例練習会を行うこととなりました。祭典成功に向けGo!!

パッソアといううたごえ小組MIRRAの団員が新しい参加者の間に混じって、音と響きを合わせながら、松田さえ子さんのリードにそって練習が進みます。5月の練習は「大切なこと」の音とりから始まり、約1時間半で9割がた音がとれ、きれいなハーモニーができあがりました。歌いながら気持ちがいいです。参加者のグループラインは現在44名。ここから膨らましていきたいものです。今日3回目の参加だった古賀ふさ子さんは、『久しぶりに合唱して、感激しています。まだまだ、「いのち」「壊す」などの重い言葉に緊張していますが、何度も歌えば、生きる喜びや希望を感じるのではないかと思います』と笑顔で感想を寄せてくれました。